

平成21年度経営構造対策等事業等の評価表・状況報告書

1	点検評価地区の状況	・・・・・・・・	1 p
2	強い農業づくり交付金事業 (経営構造対策)		
	・寒河江市 三泉地区 (4年度目)	・・・・・・・・	2 p
	・三川町 東沼地区 (3年度目)	・・・・・・・・	8 p
(参考)	評価表の記入要領	・・・・・・・・	12 p

点検評価地区の状況

平成22年度点検評価地区：2地区

経営構造対策事業実施地区

市町村	地区	認定年度	実施（評価）期間							
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
酒田市	袖浦地区	H13	○	○	○	○	○ (終了)			
舟形町	舟形東部地区	H13	○	○	○	○	○ (終了)			
河北町	田井地区	H14		○	○	○	○	○ (終了)		
余目町	余目北部地区	H15			○	○	○	○	○	○ (終了)
小国町	東部地区 (担い手緊急)	H15			○	○	○ (終了)			
白鷹町	白鷹地区 (担い手緊急)	H16				○	○	○ (終了)		
実施地区全体			2	3	5	6	6	3	1	1

アグリチャレンジャー支援事業実施地区

市町村	実施主体	認定年度	実施（評価）期間						
			H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
高島町	米工房たかはた	H15	○	○	○	○ (終了)			
実施地区全体			1	1	1	1			

水田農業経営構造確立緊急対策事業実施地区

市町村	地区	認定年度	実施（評価）期間						
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
遊佐町	南西部地区	H17	○	○	○ (終了)				
	下当地区	H17	○	○	○ (終了)				
実施地区全体			2	2	2				

強い農業づくり交付金実施地区

市町村	地区	認定年度	評価期間						
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
寒河江市	三泉地区	H18		○	○	○	○	○	
三川町	東沼地区	H19			○	○	○	○	○
実施地区全体				1	2	2	2	2	1

事業実施状況報告書（事業実施主体等用）

報告年度	都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	計画主体
平成21年度	山形県	さがえし 寒河江市	みいずみ 三泉	平成18年度	平成22年度	寒河江市
政策目標	担い手の育成・確保		整備事業の取組内容	経営構造対策		

1 施設等の整備状況

整備(予定)施設等	事業量等	対象作物等	事業実施主体 (管理主体)	事業費 (千円)	負担区分(千円)				実施 (予定) 年度
					交付金	都道府県費	市町村費	その他	
乾燥調製貯蔵施設 (ミニ・ライスセンター)	鉄骨造1部2階建 1棟 451.09㎡	水稲	三泉ライスセンター組合 (三泉ライスセンター組合)	69,623	34,811			34,812	H18
高生産性農業用機械施設 (水稲直播種用機械)	高精度湛水直播種機 (条播機8条)1台	水稲	三泉地区農作業受託組合 (三泉地区農作業受託組合)	3,654	1,827			1,827	H19
農業用水施設 (農業調合施設)	軽量鉄骨造平屋建 1棟 32.4㎡	さくらんぼ	三泉地区農薬調合組合 (三泉地区農薬調合組合)	5,124	2,500			2,624	H20

2 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム (上段:計画、中段:実績、下段達成率)					備考
		計画時 (H17年度)	目標年 (H22年度)	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
認定農業者等 担い手育成の 推進	認定農業者の育成 認定農業者の数 (戸)	20	23	21	21	22	22	23	
				20	22	25	25		
				0.0%	200.0%	250.0%	250.0%		
	担い手への農地の利用集積 利用集積面積率 (%)	31.2 (54.2ha)	42.1 (73.2ha)	33.4	35.5	37.7	39.9	42.1	
				38.6	44.2	45.8	48.7		
				327.3%	302.3%	224.6%	201.1%		
	担い手への農地の利用集積 うち連担化率 (%)	38.7 (21.0ha)	54.6 (40.0ha)	42.8	46.3	49.4	52.2	54.6	
				39.9	47.4	49.2	50.4		
				29.2%	114.4%	98.1%	86.6%		
	地区選択目標 さくらんぼの作付面積 (ha)	40	50	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
				41.8	44.1	44.4	45.2		
				89.9%	102.5%	73.3%	65.0%		

別添4（経営力の強化を目的とする取組用）

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設等名	事業実施主体(管理主体)
乾燥調製貯蔵施設 (ミニ・ライスセンター)	三泉ライスセンター組合 (三泉ライスセンター組合)

項 目	算定指標	実 績					計画目標	達成状況
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
利用計画に対する利用状況	受益面積 (ha)	27.5 (78.5)	23.4 (66.8)	24.0 (68.5)	30.0 (85.7)	()	35	○
	処理量 (t)	160.4 (75.6)	139.5 (65.7)	146.3 (68.9)	178.5 (84.1)	()	212.1	○
担い手の受益割合	総受益者数(A)	15	16	14	13		5	○
	うち担い手(B)	7	8	8	8		5	
	(B)／(A)	46.6 (46.6)	50.0% (50.0%)	57.1 (57.1)	61.5 (61.5)	()	100.0	
地域内農畜産物の仕入・委託販売額の割合	総販売額(A)	-	-	-			-	-
	うち地区内農産物(B)	-	-	-			-	
	(B)／(A)	- (-)	- (-)	- (-)		()	-	
施設運営に係る収支状況	収入 (千円) (A)	5,079	5,241	5,476	6,456		6,416	○
	支出 (千円) (B)	3,766	3,855	3,917	4,145		6,416	
	収支率(A)／(B)	134.8 (134.8)	135.9 (135.9)	139.8 (139.8)	155.7 (155.7)	()	100.0	
収入計画に対する収入実績割合	収入計画 (千円) (A)	6,416	6,416	6,416	6,416		6,416	○
	収入実績 (千円) (B)	5,079	5,241	5,476	6,456		6,416	
	収入実績割合 (B)／(A)	79.1 (79.1)	81.6 (81.6)	85.3 (85.3)	100.6 (100.6)	()	100.0	

別添4（経営力の強化を目的とする取組用）

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設等名	事業実施主体(管理主体)
高生産性農業用機械施設 (高精度湛水直播機)	三泉地区農作業受託組合 (三泉地区農作業受託組合)

項 目	算定指標	実 績					計画目標	達成状況
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
利用計画に対する利用状況	利用面積 (ha) (作付面積)	()	-	5.4 (27.0)	10.0 (50)	()	20	×
		()	-	()	()	()		
担い手の受益割合	総受益者数(A)		-	5	5		5	○
	うち担い手(B)		-	3	5		5	
	(B)／(A)	()	-	60.0 (60.0)	100 (100)	()	100.0	
地域内農畜産物の仕入・委託販売額の割合	総販売額(A)		-	-				-
	うち地区内農産物(B)		-	-				
	(B)／(A)	()	-	-	()	()		
施設運営に係る収支状況	収入 (千円) (A)		-	270	500		1,200	○
	支出 (千円) (B)		-	266	397		1,200	
	収支率(A)／(B)	()	-	101.5 (101.5)	125.9 (125.9)	()	100.0	
収入計画に対する収入実績割合	収入計画 (千円) (A)		-	1,200	1,200		1,200	×
	収入実績 (千円) (B)		-	270	500		1,200	
	収入実績割合 (B)／(A)	()	-	22.5 (22.5)	41.7 (41.7)	()	100.0	

別添4（経営力の強化を目的とする取組用）

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設等名	事業実施主体(管理主体)
農業用水施設 (農業調合施設)	三泉地区農業調合組合 (三泉地区農業調合組合)

項 目	算定指標	実 績					計画目標	達成状況
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
利用計画に対する利用状況	利用面積 (ha) (作付面積)	()	()	-	11.6	()	10	○
		()	()	(-)	(116)	()		
担い手の受益割合	総受益者数(A)			-	26		20	○
	うち担い手(B)			-	13		13	
	(B)／(A)			-			65.0	
		()	()	(-)	(76.9)	()	100.0	
地域内農畜産物の仕入・委託販売額の割合	総販売額(A)			-				-
	うち地区内農産物(B)			-				
	(B)／(A)			-				
		()	()	(-)	()	()		
施設運営に係る収支状況	収入 (千円) (A)			-	4,015		6,561	○
	支出 (千円) (B)			-	3,709		6,561	
	収支率(A)／(B)			-	108.2			
		()	()	(-)	(108.2)	()		
収入計画に対する収入実績割合	収入計画 (千円) (A)			-	6,561		6,561	×
	収入実績 (千円) (B)			-	4,015		6,561	
	収入実績割合 (B)／(A)			-	61.2			
		()	()	(-)	(61.2)	()		

平成21年度強い農業づくり交付金の事業実施状況報告に対する所見

市町村名：寒河江市

地区名：三泉

1 必須設定成果目標

(1) 認定農業者の育成

認定農業者は、平成21年度目標22名に対して25名で計画目標を達成している。年齢構成は30歳代2名、40歳代4名、50歳代9名、60歳代10名とバランスの良い構成となっている。稲作の省力化による生産安定とさくらんぼ栽培拡大により経営基盤の確立で更に増加されることを期待する。

(2) 担い手への農地の利用集積

利用集積率は年度目標及び最終目標を達成し評価できる。地区内外の高齢化等も進行するので、今後も作業受託等を進め、積極的に担い手への農地利用集積を進めることを期待する。

2 任意設定成果目標

(1) 利用集積農地に占める連担化率

連担化率は3年度に引き続き4年度も目標も未達成であり、目標に対する達成率は3年度より低下している。

農地利用集積は最終年度目標も達成していることから、地域内での農地利用に関する話し合いを行い、利用計画などを作成することで連担化率の向上が期待できる。ひいては、水稻直播種用機械の利用率の向上、湛水直播栽培面積の拡大に繋がるものとする。

(2) 地区選定目標 さくらんぼ作付面積

3年度目よりは作付け面積の伸びが増加したものの4年度も目標未達成であるが、水田転作での作付けもあり漸増状態にある。しかし、目標達成率は3年度目より低下し65%に止まっている。これまでの作付け拡大は団地化によるところが大きく、今後の作付け拡大は個別ほ場になると予測される。市・JAでは、栽培期間の延長、労働力の適正配分、さくらんぼ栽培面積の拡大をめざし、「紅シリーズ」(紅秀峰、紅きらり等品種名に紅が付く)の栽培を推進している。これにともない、施設補助や苗木購入の補助事業(1/2補助)を行っている。これらの事業の活用と計画的な農地の活用による栽培面積の拡大に期待する。

3 施設等の利用状況及び担い手の受益割合

(1) ミニ・ライスセンター

受益面積と処理量は担い手の面積拡大により、増加し利用率も80%を上回っており好転している。今後、周辺部からの受託の拡大等により、利用改善が図られるものと推測される。施設運営の収入は目標に達し、収支のバランスも取られている。

(2) 高精度湛水直播機(利用2年目)

1年度目より大きく利用面積が増加したものの、目標の50%の利用面積で未達成である。鳥の食害による被害や水利の問題があるといわれる。連担化す

ることで問題解決に繋がると推測されるので、地域による農地利用計画の作成と実践により、目標達成を図ってほしい。

(3) 農薬調合施設(利用1年目)

利用面積については1年度目から計画目標に達しており、評価される。

担い手以外の受益者も多い。施設運営収支はバランスがとれているものの、収入計画に対する収入実績は61.2%で目標未達成である。

農薬調合施設を利用された方々は、「農薬の無駄がなくなった。」、「農薬調合時間がなくなり、気持ちにゆとりができた。」、「安全・安心な農産物の生産に繋がっている。」と評価している。

このことから、農薬調合施設利用による安全・安心な農産物の生産、コスト及び労力低減を積極的にPRし、利用面積の拡大を図る。このことが収入増に繋がり、目標達成されることを期待する。

別紙様式2号

(経営力の強化を目的とする取組用)

事業実施状況報告書 (事業実施主体等用)

報告年度	都道府県名	市町村名	地区名	実施期間	目標年度	計画主体
平成20年度	山形県	三川町	東沼	平成19年度	平成23年度	農事組合法人 稲・華紋
政策目標	担い手の育成・確保		整備事業の取組内容	経営構造対策		

1 施設等の整備状況

整備施設等	事業量等	対象作物等	事業実施主体 (管理主体)	事業費 (千円)	負担区分 (千円)				実施 年度
					交付金	都道府県費	市町村費	その他	
乾燥調製貯蔵施設	鉄骨造2階建 377.52 m ²	水稻	農事組合法人 稲・華紋	68,370	34,185			34,185	H19

2 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム (上段:計画、中段:実績、下段:達成率)					備考
		計画時 (H18年度)	目標年 (H23年度)	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
担い手の育成・ 確保	認定農業者の育成確保 認定農業者の数 (戸)	10	15	11	12	13	14	15	過去五年間の 増加率 34.4%
				15	15	15			
				500.0%	250.0%	166.6%			
	担い手への農地の利用集積 利用集積率 (%)	60.7% (66.2ha)	85.2% (92.9ha)	64.8	68.7	68.7	71.8	85.2	地区内農地面積 109.0ha
				68.5	68.6	68.7			
				190.2%	98.8%	100.0%			
	地区選択目標 菌茸栽培量の拡大	52,000 玉	72,000 玉	57,000	62,000	63,500	67,000	72,000	
				68,600	65,408	70,592			
				332.0%	134.0%	161.6%			
	地区選択目標 長ネギ作付面積の拡大	143 a	180 a	145	150	160	170	180	二毛作 29a を 含む(モン/祿)
				143	119	162			
				0.0%	-342.9%	111.7%			

記入にあたっては、(参考1)の記入要領を参照のこと。

別添4（経営力の強化を目的とする取組用）

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設等名	事業実施主体(管理主体)
乾燥調製貯蔵施設 (ミニ・ライスセンター)	農事組合法人 稲・華紋 (農事組合法人 稲・華紋)

項 目	算定指標	実 績					計画目標	達成状況
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
利用計画に対する利用状況	受益面積 (ha)	22.7 (66.6)	24.6 (72.1)	26.5 (77.6)	()	()	34.1	○
	処理量 (t)	149.3 (56.4)	174.2 (65.9)	260.8 (98.4)	()	()	264.8	○
担い手の受益割合	総受益者数(A)	5	5	5			5	○
	うち担い手(B)	5	5	5			5	
	(B)／(A)	100.0 (100.0)	100 (100)	100 (100)	()	()	100.0	
地域内農畜産物の仕入・委託販売額の割合	総販売額(A)	-	-				-	-
	うち地区内農産物(B)	-	-				-	
	(B)／(A)	- (-)	- (-)		()	()	-	
施設運営に係る収支状況	収入 (千円) (A)	24,252	37,780	42,842			44,311	○
	支出 (千円) (B)	18,611	29,453	33,822			30,976	
	収支率(A)／(B)	130.3 (91.1)	128 (89.7)	126.7 (88.6)	()	()	143.0	
収入計画に対する収入実績割合	収入計画 (千円) (A)	44,311	44,311	44,311			44,311	○
	収入実績 (千円) (B)	24,252	37,780	42,850			44,311	
	収入実績割合 (B)／(A)	54.7 (54.7)	85.3 (85.3)	96.7 (96.7)	()	()	100.0	

平成21年度強い農業づくり交付金の事業実施状況報告に対する所見

市町村名：三川町

地区名：東沼

1 必須設定成果目標

(1) 認定農業者の育成確保

認定農業者は、1年度目と同数で最終目標の15名を達成している。年齢構成は20歳代 1名、30歳代 1名、50歳代 7名、60歳代 5名、70歳代 1名となっている。60歳以上の認定農業者の割合が40%、20歳代～40歳代の認定農業者の割合が13%である。現在の年齢構成では、近い将来、農業担い手への不安が予測される。

このことから、地域内の農地及び労働力の有効活用による園芸作物の栽培拡大（しいたけ、長ねぎ）を図り、地域目標である水稻を基幹とした複合の確立が今後の担い手育成の大きな鍵と考える。

このことから、積極的な園芸作物の導入など、今後の進展に期待する。

(2) 担い手への農地の利用集積

利用集積率は2年度については、目標を僅かに下回ったが、(目標達成率98.8%)、3年度は目標、実績とも68.7%、目標達成率は100%で達成している。

地域内の農地が地域内の担い手に集積するような話し合いと実践により、担い手への農地集積が行われ、4年度以降の目標達成と新たな農業担い手の育成が図られることに期待する。

2 任意設定成果目標

(1) 菌茸栽培量の拡大

菌茸栽培については、3年度目標の162%と高い達成率である。栽培者は3名で、1名は周年栽培を行っており、2名は冬期間と春先栽培に取り組んでいる。椎茸栽培は市場ニーズが強く、町では生産規模拡大を積極的に推進しており、今後、更に規模拡大が図られることに期待する。

(2) 長ネギ作付け面積の拡大

事業実施2年度目までは目標未達成となっていた。3年度目は稲作法人のネギ導入とメロン後作にネギを作付けする新たな栽培方法に取り組み、面積拡大し、目標を達成している。長ネギは町が推進する複合経営の主品目の一つであり、農地の効率的な活用と積極的な栽培による面積拡大とブランド化の確立を図り、更なる農家所得の向上に期待する。

3 施設等の利用状況について

3年度目の受益面積は26.47haで最終目標の77.6%となっている。

2年度目に引き続き増加している。処理量も大きく増加し、最終目標の98.7%となっている。

処理量の増加は、他の法人組織や個人からの乾燥調製作業の受託によるものである。

3年度目の収入も増加しており、収支バランスは良好である。ミニ・ライスセンターは個別処理されていることから利用者からは評価が高い。地域では有機米栽培への取り組みが増えていることから、今後の進展が期待できる。

農業経営総合対策実施要領
(記入要領等)

- 「事業内容」欄は、施設名及び規模を記入する。
- 全国共通目標及び地区選択目標の達成率は、 $(\text{実績} - \text{計画時}) / (\text{年度計画} - \text{計画時}) \times 100$ により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する)
なお、 $(\text{実績} - \text{計画時}) = 0$ ($\text{年度計画} - \text{計画時}) = 0$ となる場合の達成率の記入方法については、以下によるものとする。

数値目標が漸増するもの

例、認定農業者等の育成、担い手への農地の利用集積等

計画時	年度計画	実績	$(\text{実績} - \text{計画時}) / (\text{年度計画} - \text{計画時}) \times 100$	記入方法
0	0	0	$(0 - 0) / (0 - 0) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
0	0		$(- 0) / (0 - 0) \times 100 = - / 0 \times 100$	皆
			$(-) / (-) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
			$(-) / (-) \times 100 = (-) / 0 \times 100 <$	皆

注意： 及び は、0以外の数値をいう。

数値目標が漸減するもの

例、遊休農地の解消、労働時間の短縮等

計画時	年度計画	実績	$(\text{実績} - \text{計画時}) / (\text{年度計画} - \text{計画時}) \times 100$	記入方法
0	0	0	$(0 - 0) / (0 - 0) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
			$(-) / (-) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
		0	$(0 -) / (-) \times 100 = - / 0 \times 100$	皆
			$(-) / (-) \times 100 = (-) / 0 \times 100 >$	皆

注意： 及び は、0以外の数値をいう。

- 「達成状況(評価)」欄は、当該年度の達成率が70%以上の場合は「」を、70%未満の場合は「」を記入する。
- 「改善措置等」は、個別の目標ごとに未達成の場合、その要因の分析と改善にむけた措置等を記入する。
- 添付資料1の「都道府県経営・生産対策推進会議の所見」は、市町村等から報告のあった評価全体に対する所見を添付する。
- 添付資料2の「施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書」は以下により記入する。
 - 1及び2は、当該事業により整備した機械及び施設について記入する。
ただし、添付資料2の2については、別記1の1の(4)の力の(オ)に定める機械及び施設とする。
 - 3及び4は、処理・加工、販売、食材供給等の機能を有する施設について記入する。
 - 1及び2の 1、 2には、利用率、担い手の受益割合を算定するための指標をそれぞれ記入する。
(例：当該施設の「受益面積」、「処理量」、「販売額」、「利用者数」等)
 - 3の農畜産物の仕入・委託販売額欄は、当該施設において処理・加工、販売、食材供給される農畜産物のうち、事業計画において仕入れ又は委託販売することとされた品目に係る金額とする。また、左のうち地区内の農畜産物欄は、農畜産物の仕入・委託販売額のうち、受益地域内で生産された農畜産物の品目に係る金額とする。
 - 1の達成状況欄は、利用率が70%以上の場合は「」を、70%未満の場合は「」を記入する。
 - 2の達成状況欄は、担い手の受益割合が別記1の1の(4)の力の(オ)に定める割合以上の場合は「」を、割合未満の場合は「」を記入する。
 - 3の達成状況欄は、地区内の農産物の割合50%以上の場合は「」を、50%未満の場合は「」を記入する。
 - 4の収支率の達成状況欄は、80%以上の場合は「」を、80%未満の場合は「」を記入する。また、収入計画に対する収入実績割合の達成状況欄は、70%以上の場合は「」を、70%未満の場合は「」を記入する。

強い農業づくり交付金実施要領

(記入要領等)

1 達成率は、(実績 - 計画時) / (年度計画 - 計画時) × 100 により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する)

なお、(実績 - 計画時) = 0、(年度計画 - 計画時) = 0 となる場合の達成率の記入方法については、以下によるものとする。

数値目標が漸増するもの

計画時	年度計画	実績	(実績 - 計画時) / (年度計画 - 計画時) × 100	記入方法
0	0	0	$(0 - 0) / (0 - 0) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
0	0		$(- 0) / (0 - 0) \times 100 = / 0 \times 100$	皆
			$(-) / (-) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
			$(-) / (-) \times 100 = (-) / 0 \times 100 <$	皆

注意： 及び は、0以外の数値をいう。

数値目標が漸減するもの

計画時	年度計画	実績	(実績 - 計画時) / (年度計画 - 計画時) × 100	記入方法
0	0	0	$(0 - 0) / (0 - 0) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
			$(-) / (-) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
		0	$(0 -) / (-) \times 100 = - / 0 \times 100$	皆
			$(-) / (-) \times 100 = (-) / 0 \times 100 >$	皆

注意： 及び は、0以外の数値をいう。